

令和5年度 社会福祉ボランティア大学校 研修予定

	研修名	目的・内容	開催場所・日程(予定)
市民活動を始めたい方に これからボランティア活動や 市民活動を始める方に	まちづくりセミナー	さまざまな地域の福祉課題の活動や研究をしている方の話を聞き、地域づくりやボランティア・市民活動の参加促進を図ります。	ウエルとばた 10月～11月
	新たな社会問題に対応する講座～①②	現代社会が福祉課題として対峙する孤独・孤立防止の取り組みに焦点を当て、子ども食堂、虐待防止、悩み事相談、ひきこもり対応など、誰もがさまざまな状況で直面する問題に取り組むボランティア活動を紹介します。	ウエルとばた 1回目: 4月～6月 2回目: 11月～1月
	ふくしのまちづくり講座	地域の課題解決と仲間づくりを目的に、校(地)区の方と一緒に企画・運営していく実践型の研修です。	開催校(地)区 7～3月 ※年間14校(地区)
	市民講演会	社会問題や地域課題を取り上げ、ボランティア・市民活動への参加のきっかけとなるような学習機会を提供する研修です。	ウエルとばた 10月～11月
さらに深めたい方に テーマ型ボランティア・市民活動を 始める方に	福祉有償運送運転協力者研修	シルバーひまわりサービス等福祉有償運送で、運転を希望する方を対象にした、福祉車両及びセダン型車両の実技や法規を中心に学ぶ、国土交通省が認定する講習です。	1 福祉車両 セダン 回 5/20(土) 5/27(土) 目 クレカ若松: ウエルとばた 2回目: 10月 3回目: 2月
	障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座	障害への理解を深め、障害のある方への支援のあり方について学び、ボランティア活動への参加促進を図ります。	ウエルとばた 9月
	災害ボランティア養成講座	災害時の基礎知識や、災害ボランティアの役割・備え・心構えについて学び、自分に合う活動を見つけてもらい、活動への意識づけを行う講座です。	①小倉北区 7月～9月 ②門司区
	ボランティアグループ運営研修～はじめの一歩はつながりから～	ボランティア・NPO等の活動を始めたばかりの団体から活動中の団体まで広く集まり、リーダー等がグループの運営手法や活動事例を学び合い、団体同士の交流を通じて相互のつながりを促進し、ボランティア・市民活動の増進とスキルアップを図る研修です。	ウエルとばた 10月
自分たちの地域でボランティア活動を 進めたい方に	現任福祉協力員研修	福祉協力員が、活動を続けていく中での課題解決や新しい情報を身につけ、スキルアップを図る研修です。	各区9～12月
	地域福祉活動専門研修	地域福祉活動に関する専門的なテーマについて知識や技術を高めます。	ウエルとばた 12月
	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協の役員等を対象として、社会福祉の大きな流れをつかみ、情報共有・提供を行うための研修です。	ウエルとばた 2月
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社協の新任役員としての基本的な姿勢や技術を学びます。	ウエルとばた 6月
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会役員・市民センター職員等を対象として、より良いまちづくりをめざし、研修・情報交換・討論などを行い、みんなで活動を深めていくゼミナール形式の研修です。	ウエルとばた 9～11月
法人・企業・社会貢献活動を始めたい方に	企業の社会貢献活動セミナー	企業に向けて、ボランティア・市民活動の周知や企業単位での従事者向けボランティア講座開催の働きかけなどを行い、取り組みを促進する研修です。	オンライン研修 1月
	社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献に対する理解を深め、ボランティア・市民活動へのきっかけづくりを目指す研修です。	オンライン研修 2～3月
ボランティア活動の推進を支援する方に	ボランティア活動を推進するため、福祉施設や市民センター、中間支援組織等でコーディネーター業務を担う職員を対象として、コーディネーションの基本や技術を学びます。	ウエルとばた 6月	

※新型コロナウイルス感染拡大の状況などによっては延期・中止の場合もあります。



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」④

想像力と共感力を  
養うための教材

北九州市立大学地域戦略研究所

教授 深谷 裕さん



多様な人々が暮らす社会において、相手の立場に立って物事を考えることがこれまで以上に求められています。特に福祉領域で働く人々にとって、想像力や共感力は重要です。しかし実際は、自分が身をもって経験していないことに共感することは容易ではありません。そんな時に役立つのが本や映画です。

最近の私の教材は、2022年にアカデミー賞を受賞した『コーダあいのうた』です。この映画は、聴覚障害者の両親をもつ子ども(CODA: Children of Deaf Adults)である10歳の少女を主人公に描いています。脚色は、なされてはいますが、CODAとしての経験を垣間見ることができました。何より、この映画を通してCODAの存在を人々に気づかせたという点で意義ある作品だと思います。

この映画にえらく感動した私が次に手にしたのは

ノーラ・エレン・グロース著『みんなが手話で話した島』(早川書房)です。これは、北米に実在する小さな島のことを描いています。その島では、歴史的事情から聴覚障害のある住民が少なからず暮らしており、島民は障害の有無にかかわらず皆手話を使っていました。そのため聾であるということが特別ではなかったそうです。この本を通して、障害とは何か、偏見や差別はなぜ無くならないのか、皆が暮らしやすい社会をつくるための条件は何か、一人一人は何かできるのか等、いろいろと考えさせられました。

スピード重視の学生にとっては、「動画は2倍速で見るもの」「小説のネタバレは大歓迎」とのこと。それで楽しめるのかな?と疑問には思いますが、どんな方法であれ、学生には他者の気持ちを想像し、時には共感できる力を育んでほしいと願っています。

受講生募集

ボランティアコーディネート研修



ボランティア受け入れのコーディネーションについて  
考えてみよう ～ボランティアさん!いらっしやい～

社会福祉施設や市民センター、校(地)区社協等のボランティア受け入れ担当者等を対象に、利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。グループワークやエクササイズをとらしてファシリテーターを体験するなど、ボランティアコーディネートをいろいろな視点からみんなで考える体験型の研修です。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

と き/令和5年6月7日(水) 13:30～16:00  
と ころ/ウエルとばた12階H・I研修室(戸畑区汐井町1番6号)  
対 象/社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協等において、ボランティア受け入れを担当される方  
定 員/30名 ※申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
申 込 方 法/電話(☎881-6321)またはGoogleフォームでお申込ください。

受講料/700円

申込締切  
5月24日(水)  
必着



受講申込QRコード